

桐 kiri

目白の森から風便り

目白学園 広報誌
学校法人 目白学園
目白大学大学院
目白大学
目白大学短期大学部
目白学園中学校・高等学校

第3号
通算101号
2004.7

Special issue
目白大学人間社会学部人間福祉学科 誕生!
**人間理解を根底に、知識と技術を持った
福祉のスペシャリストを育成。**

発展する目白大学
**2005年 新宿キャンパスに
新学部・新コース誕生**

目白探訪
新宿キャンパス4号館(桐和館)
学園インフォメーション
輝く目白の星
**ダンスの楽しさを
子どもたちに伝えていきたい**
人文学部言語文化学科3年
政井 海人君





目白大学人間社会学部人間福祉学科 誕生!

人間理解を根底に、 知識と技術を持った福祉の スペシャリストを育成。

2004年4月、目白大学人間社会学部に人間福祉学科が誕生し、
150名の新入生とともに新しい歴史の第一歩を踏み出しました。
今回は人間福祉学科の4人の先生をお招きし、
人間福祉学科のこれからについてお話しいただきました。



現場に強い人材を育成したい

——お忙しい中、ご出席くださりありがとうございます。本日はこの春にスタートした人間社会学部人間福祉学科の今後についてお話を伺いたいと思います。最初に「今なぜ人間福祉学科」だったのでしょうか。

千葉 少子高齢化が進む現代社会に福祉は避けては通れないテーマです。近年は福祉ビジネスへの民間企業の参入も相次いでおり、社会福祉分野ではより「質の高い人材」が求められています。そこで、福祉はサービス提供者側の視点ではなく、福祉サービスを利用する者の人間尊重に重きを置き、利用者主体の考え方で行こうというわけです。

松矢 本学科では社会福祉士の資格取得を目指しますが、例えば本学エクステンションセンターの公開講座を利用してホームヘルパー資格を取得したり、手話などを学んだりできますし、ボランティア活動を始めた学びにより、卒業後のNPO活動に活かすことも可能です。多様な現場を体験することで市民のニーズを掘り起こし、社

会貢献へのきっかけをつかんで欲しいと思っています。

大崎 社会に出てすぐに役立つ視点も大切ですが、人間福祉学科は人間社会学部の中にある意味が大きいと思います。4年間で自己や他者と向き合い、苦難を乗り越えていくことで人間として成長して欲しいですね。その経験は福祉現場に限らず、どんな分野でも活けるでしょう。

千葉 「社会福祉援助技術論」に「自己覚知」という言葉があります。つまり人間福祉学科の学びの中で自分をしっかり認識し対人関係を築ける能力が得られることは、生涯にわたって大きい意味を持つと思います。

福祉と心理、教育、医療の枠を超えて

——加藤先生は福祉の現場経験をお持ちですが、どのように授業に活かしていくお考えですか。

加藤 私は知的障害児施設や精神科での心理相談を経て、今は児童養護施設でセラピストとしても仕事をしています。そこ

で感じるのは子どもと一緒に暮らしているソーシャルワーカーと、週に1回程度訪れるセラピストとの協働関係がうまくいっていないということ。つまり福祉分野と心理分野という異職種の連携、コミュニケーションをいかに図るかが課題です。今の社会福祉教育にはそうした視点が足りませんでした。その点、目白大学人間社会学部には心理カウンセリング学科が既にあって、学科の枠を超えて心理系の科目を履修できますし、両分野をつなぐ教育が可能だと思っています。

松矢 私も「障害者福祉論」などを専門として、るべきサービスを研究していますが、福祉・教育・医療の連携が不可欠なのに、現状では専門職域がバラバラなんです。それをどう統合して、課題に向かうか、そのシステム構築が欠かせないと思います。そのためには学生に、子どもから大人まで、いろんな世代と交流し、生涯にわたって必要な教育・医療・福祉のシステムを共に考えてもらいたい。その意味で加藤先生のような現場に強い先生もいれば、社会制度に強い先生もいて、非



常にバランスが取れている学科だと思いますよ。

大崎 私はソーシャルワークの知識や技術を、さまざまな問題が噴出する学校現場で、どう活かしたらいいかを研究しています。不登校やいじめ、非行などに対応して学校でもカウンセリングルームを設ける動きが進んでいますが、そうした場所に来られない子どももいます。地域の社会資源を活用して、そういう児童に対応するにはどうしたらいいかといった問題を、学生と一緒に考えていきたいですね。

目的意識の強い学生がいて頼もしい

——今年、入学した学生の印象はどうですか。

大崎 学生にアンケートを取りましたが、身内に痴呆のお年寄りがいるとか、友人の相談を受ける中で人を助ける喜びを感じたとか、学校不適応の経験を活かしたいとか、自分の中から湧いた問題意識を大切に入学している学生が多くいます。

大学院進学や、高齢者施設で働きたいなど、既に目標が定まった学生も見受けられます。

松矢 驚いたのは、従来だと女性が多かったのが、男子学生が半数以上いるということ。男女の参画が不可欠な時代であり、利用者にとっても両性によるサポートがとても大切なだけに、頼もしく感じますね。

——「現場に強い」学生を育てるためのカリキュラムの工夫は。



人間福祉学科 教授(学科長)
千葉 茂明氏
「児童福祉論」等



人間福祉学科 教授
松矢 勝宏氏
「障害者福祉論」等

加藤 まず1年次の秋学期に社会福祉施設の見学に行きます。2年次前半には児童養護施設や行政機関、子育て支援センター、NPOなどで実際に働く方に来ていただき、現場で働くとはどういうことか、生の声を聞きます。そして2年次後半、3年次には、社会福祉関連施設等、豊富な実習先で実習を積む予定です。

大崎 いずれも全教員がチーム体制で参加するのも特徴。また少人数クラス編成で、教員と学生が密な関係で学べるのも大きな魅力だと思います。

資格だけでなく多彩な進路を応援したい

——卒業後の進路についてはどのように考えられていますか。

千葉 目白大学ではキャリアデザインの名前で全学的に就職につなげる取り組みを行っていますが、人間福祉学科は施設実習を通して職業意識の高まり、そして就職へと直結していることが大きな魅力と言えるでしょうね。

松矢 本学科は高齢者や障害者、子どもを含め、すべての人と共生するという考えを学ぶわけですから、その考えは企業就職の際にもかなり価値があると思います。例えば住宅や建築関連会社でも、人間理解を根底にやさしい環境を提供したりする仕事にもつながるでしょう。

大崎 もちろん社会福祉士の資格取得は大きな目標です。現在全国の合格率は

30%を切っていますが、本学科では限りなく100%に近い数字を目指します。併せて就職につながるよう、公務員試験等も全学一体となってサポートしていきたいですね。

加藤 高齢者施設などでは社会福祉士資格が活きるところ多くなっていますが、児童福祉施設などでは現場経験をもとにした人間力が求められる部分も根強くあります。冒頭に千葉先生が言われた「自己覚知」という部分も大切になりますね。

千葉 その意味で本学科では人間理解を基軸として、知識と技術、これら三位一体となった福祉のスペシャリストを育成していきたいと考えます。現場を踏むことで、思ったような手応えが得られず、バーンアウトしたり挫折したりする学生もいるかもしれません、そのときに支えとなるのが学問的な理論構築。そのためには、在学生や卒業生、地域の福祉専門職の方を再教育する専門職大学院やリカレント教育の体制作りも今後の課題です。とにかく皆で学生を盛り立てる教育を工夫していきたいと思っています。

用語解説

社会福祉士

高齢者や障害を持つ人やその家族からの相談に応じて適切なアドバイスや指導・援助を行う社会福祉のスペシャリスト。資格取得には、厚生労働大臣の指定する科目をすべて履修し、受験資格を得、国家試験に合格する必要がある。

NPO

Non-Profit Organization(民間非営利組織)の略称で、利益の追求を目的としない社会性の高い事業を行う組織のこと。

セラピスト(心理療法士)

心理療法やカウンセリングなどによって、心理的な問題を抱えている人を治療・援助する仕事。福祉領域では、虐待やDV(ドメスティックバイオレンス)被害者、発達障害の子どもなどへの援助が期待されている。その資格として「臨床心理士」などがある。

ソーシャルワーカー

社会福祉サービスを利用者に提供するときに必要となる社会福祉援助技術を持ち、援助を行う人。

学校不適応

いじめなどなんらかの理由で学校生活になじむことができない状態。



人間福祉学科 助教授
大崎 広行氏
「社会福祉援助技術論」等



人間福祉学科 専任講師
加藤 尚子氏
「カウンセリング論」等

発展する目白大学

2005年 新宿キャンパスに 新学部・新コース誕生

2005年、新宿キャンパスに新しい学部とコースがスタートします。

外国語学部と短期大学部生活科学科の2コースです。

目白大学は1994年の創設以来、たゆみない発展を続けてきました。

今年も人間社会学部に人間福祉学科が誕生し、

来春には、6学部13学科を擁す総合大学へと歩を進めています。

大学の成長の歩みは止まることはありません。

外国語学部

英米語学科

アジア語学科

中国語専攻／韓国語専攻／日本語教育専攻

国際社会で活躍できる語学力と
コミュニケーション能力を育てます

外国語学部は新宿キャンパスの第3の
4年制学部として誕生します。設置学科
は英米語学科とアジア語学科。アジア語
学科には中国語、韓国語、日本語教育の
各専攻を設置します。

国際化が急速に進むなか、私たち日本人にとって切実な必要性に迫られている
外国語が、英米語と中国語、韓国語です。
新学部では、それらの言語を基礎からし
っかり身につけることのできる各専攻と日
本語教師になりうるほどの日本語能力育
成を目指す専攻を設置し、日本を軸にし
た国際社会で求められる実用的な語学
力を育てます。

また国際社会や異文化を理解する科
目群と危機管理能力を身につける科目群
もあわせて学ぶカリキュラムを編成し、将来、

国際社会で活躍するために必要不可欠
である豊かな国際感覚と問題解決能
力も養います。

教授陣は、第一線の外国語研究者の
ほか、ジャーナリストや国際機関勤務、教
育現場の教師などの現場経験者で構成。
国際社会の生き生きとした姿を映しだす、
ダイナミックな授業を展開します。

卒業後は、大学で身につけた実用的
な語学力、異文化理解力、主体的行動
力を活かして多様な分野での活躍が期
待されます。たとえば海外では、国際機

関の職員やNGO・NPOのスタッフ、教育
機関での日本語教師、現地企業での日
本との交流事業担当者などの道が想定
されます。国内では、旅行会社や多国籍
企業のスタッフ、外国語教師、日本語教員
など。このほか自治体や警察官、消防士
などの公務員、アーティストや技術者、介
助員、販売員などの職業でも外国語能力
の必要性は高まっており、これらの分野を
目指す人にとっても本学部の専門教育は
自己実現の有用な手だてとなるに違いあ
りません。

外国語学部の教育の特色



学部共通科目の特色

国際理解・文化理解力を高める

国際社会の現実を知り、世界の多様な文
化を理解していくための見方、考え方を学
ぶことにより、多文化共生社会に生きる力
を育む。

危機管理能力・問題解決力を 身につける

海外で遭遇する、さまざまな危機的状況の
解決策や、国際契約の基本的な事項など
を具体的に学び、知ることができる。

外国語+αで雇用価値を高める

授業や臨地研修などを通じて活きて役に
立つ外国語運用力を培い、外国語+αの
資格を取得することで、雇用価値を高める。

現地で生きた言葉に触れ、感じ、学ぶ
「セメスター留学」と「臨地研修」

外国語学部では、学生たちが直にその国の言葉に触れ、感じ、学ぶための海外プログラムを重視します。

英米語学科では、原則として全員が1学期間の「セメスター留学」を体験します。アジア語学科の中国語専攻と韓国語専攻では、4週間から半年間、個人の目的や状況にあわせた「臨地研修」を積極的に奨励します。また、韓国語専攻では海外協定校の正規授業を受講し、目白の卒業単位に組み込む「海外研修」も実施します。

海外協定校

カナダ=マラスピーナ大学
アメリカ=南オレゴン大学／オレゴン大学／サンフランシスコ州立大学／ハワイ大学マノア校／グリーンマウンテン大学
オーストラリア=サンシャインコースト大学／クイーンズランド大学
中国=浙江大学／北方工业大学／延边大学
韓国=韓瑞大校／湖南大校／延世大校／蔚山大校／昌信大學



サンフランシスコ州立大学



オレゴン大学

短期大学部

生活科学科

製菓コース／園芸ライフデザインコース

短期大学部生活科学科に2つの新コースが誕生します。どちらも、暮らしをより豊かにクリエイトするための専門コースです。「フード・ウェルネス」「ファッショング・デザイン」「秘書・ビジネス」に加わることで、より学びの幅が大きく広がります。

製菓コース

製菓の技術と知識を学び豊かな感性を養います



洋菓子基礎実習
中川二郎先生



和菓子基礎実習
堀 正幸先生

製菓の基礎的な技術と理論を、和菓子と洋菓子を中心学びます。あわせて栄養学や衛生学を学び、食品のプロを目指すために必要な基礎を養います。製菓の世界では、仕上がりのデザインや背景にある文化への教養も重要なポイントであり、そのために、お菓子作りを通して、美的な感性や教養も磨いていきます。卒業後は、菓子店での製作・販売、食品関連企業の一般職などへの道が期待されます。

園芸ライフデザインコース

緑のある豊かな暮らしのキーパーソンを育てます

植物は食品や医薬品の素材として、また、観賞や園芸の対象として私たちの暮らしと深くかかわっています。このコースでは、ガーデニングやグリーンコーディネーション、園芸クラフト、ハーブ料理など、緑のある暮らしをクリエイトするための幅広い知識や技術、そして教養を実習中心のカリキュラムで学びます。卒業後は、生花店やガーデンセンターなどの販売員、花や野菜・果樹を含めた植物の生産者・研究者として、あるいは、生産農場や観光園などの植物育成・管理業務などの現場で活躍することが期待されます。



自探訪

第3回 4号館(桐和館)

4号館は、中学・高等学校の生徒が学ぶ地上4階、地下2階の建物です。校舎内は普通教室のほか、職員室や特別教室、地下には桐和館と呼ばれるメインアリーナとサブアリーナがあります。平成11年に建てられ、まだ新しさの残る校舎内は、休み時間になると廊下をすれ違う生徒と先生たちの間で元気な挨拶が交わされ、とても明るく健やかな教育空間です。



中庸

訪れた人をまず迎えてくれるのが緑豊かな中庭。桂、ジンチョウゲ、モミジ、アジサイなど20種類以上植えられており、季節ごとにさまざまな表情を見せてくれます。なるべく自然のままの姿を保つよう“森の学園”としての伝統が守られています。



プラネタリウム

4階の理科室には、中・高の施設としては全国でもめずらしいドーム型プラネタリウムが設置されています。直径約3メートルのドームには季節や時間によって違う星座が映し出され、中学3年生の理科、高校1・2年生の地学の授業に使用されています。9月に行われる学園祭では一般の方々をお招きし、理科部の生徒による星空のナレーションも行われています。



岩石標本

火成岩・堆積岩・変成岩・植物化石・動物化石・鉱物・鉱石など、多種多様の標本が研究室の壁一面に収められています。中にはグラウゼナイトに当たると光を放つ石もあり、自然の作りだす物質の神秘に触れることができます。



メインアリーナ

桐和館地下1階の
メインアーニーは、中・
高の体育の授業、
入学式などの式典
のほか、大学の卒業
式、スポーツフェス
ティバル、学園祭な
どにも使用されてい
ます。地下とはいえ



天井は高く、窓もあり、自然の光あふれる明るいフロアです。1階部分には観客席が設けられています。

サブアリーナ

桐和館地下2階のサブアリーナは、ダンスやチアリーディングの練習に最適な鏡の壁になっています。一方は全面が窓で、自然光が明るく差し込む、風通しのよい、地下とは思えないフロアです。



Shinjuku Campus Map



校長室の扉はいつもオープン。誰もが訪問できる開かれた校長室
2階にある校長室の扉はいつも開いたままになっています。扉が開いているときはもちろんのこと、扉にはめ込まれたガラスから覗いて松本逸也校長や羽田紘一副校長が在室のときにはいつでも訪問は自由。休み時間や放課後にはたくさんの生徒が、時には先生や保護者の方が訪ね、部活動のことから学校への希望などさまざまな話をしに来ます。生徒の言葉から学校全体の制度を見直すきっかけに発展することもあります。校長先生は「話すことできがラクになることが多い。ここに来ることで心が軽くなれれば」と語ります。



学園インフォメーション

中学校・高校

2004.4.9

中学校・高等学校入学式

4月9日(金)、平成16年度の中学校・高等学校の入学式が佐藤重遠記念講堂で挙行された。今年度は中学生50名、高校生122名の新入生を迎えた。新入生一人ひとりの緊張した面持ちの中に、これから学校生活に対する期待を感じ取ることができた。

2004.5.8・9

「平成16年度 全日本チアリーディング選抜選手権」で健闘

5月8日(土)、9日(日)国立代々木競技場第2体育館で行われた「平成16年度 全日本チアリーディング選抜選手権」において、目白学園高等学校は総合第10位という栄

誉ある順位を獲得した。

出場チームは社会人・大学生・高校生合わせて79チーム。決勝大会に進めるのは13チームだけで、なかでも高校生チームは目白学園高校のみ。この時点で高校生全国No.1の座に輝いた。



た入学式は厳粛なものだった。

2004.4 フレッシュマンセミナー

開催場所 新宿キャンパス／水上温泉 ホテル松の井、岩槻キャンパス／磐梯熱海温泉 華の湯ホテル

4月6日から11日にかけてフレッシュマンセミナーが開かれた。今年は人間社会学部、経営学部・短期大学部、人文学部と3組に分かれて実施された。プログラムは参加者全員で行うものから、各学科、クラスに分かれて行うものまで多種多様。このセミナーは新入生の友達作りにも重点をおいたもので、皆充実した3泊4日を過ごした。

2004.5.11 新校舎地鎮祭

岩槻キャンパスに新しく建設する新校舎(3号館)の地鎮祭が、5月11日(金)、厳かに執り行われた。新校舎には来春開設予定の保健医療学部のために理学療法実習室、作業療法実習室、基礎医学実習室等を設置する予定。(新学部については次号で詳しく紹介の予定)

大学・短大・大学院

2004.4.2

入学式

平成16年度の大・短期大学部の入学式が、4月2日(金)大宮ソニックスティで挙行された。



今年度は岩槻キャンパスに281名、新宿キャンパスに769名、短期大学部に182名の新入生を迎え、その新入生が一堂に会し



佐藤弘毅理事長・学長 藍綬褒章を受章

目白学園81年目の春に大きな慶事。本学園の佐藤弘毅理事長・学長が、藍綬褒章を受章されました。5月17日、先生は伝達式の後、皇居で天皇陛下への拝謁に臨まれました。

藍綬褒章は、教育や福祉・商工業等の分野において公益のために尽くされた方々を対象とするものです。2004年春の受章者は525人。その中には、佐藤先生の他、日産自動車社長のカルロス・ゴーン氏等も含まれています。

さて、佐藤先生には2つの顔があります。ひとつは、長年にわたり学校法人目白学園理事長及び目白大学・同短期大学部学長として学園の経営改革や大学拡充に尽力された「学園中興の祖」としての顔。もうひとつは、文部科学省大学設置・学校法人審議会委員や日本私立短期大学協会副会長等、学外の数々の要職にあって、我が国の高等教育の発展と私学振興の為に東奔西走されている「私学界のキーパーソン」としての顔。今回の受章はその何れもが高く評価されてのことです。また、その両方に共通す

るのが「私学きっての改革者」としての活躍。産業界の改革者、カルロス・ゴーン氏と共に受章されたことも何かの縁を感じます。

4月の受章者発表以来、学園には祝電や祝花が多数届きました。余りの反響の大きさに先生ご自身も大変驚かれたようです。多くの方々から寄せられる祝意に等しく感謝の言葉を口にされている先生ですが、中でも最も嬉しそうに目を細められたのが、学生さんからの蘭の鉢。決して大きな鉢ではなかったのですが本当に嬉しいでした。

教育者、佐藤先生の原点を見たような気がします。



目白学園 学校説明会・オープンキャンパス開催日程

学校説明会

<高等学校>

8/28(土)、10/30(土)、11/14(日)、11/27(土)、12/11(土)
時間10:00～12:00

<中学校>

8/28(土)、10/30(土)、11/14(日)、11/27(土)、12/11(土)、
12/25(土)、1/15(土) 時間13:00～15:00

夏休み学校見学会 <高等学校><中学校>

8/25(水)、8/26(木)、8/27(金) 10:00～16:00の間随時

文化祭(福島祭) <高等学校><中学校>

9/25(土)、26(日) 9:00～15:00(ミニ説明会もあります)

その他見学可能な学校行事

◆第5回遺跡フェスタ 7/25(日) 10:00～16:00 本校内(参加可能)
◆中学校合唱発表会 11/12(金) 9:00～11:00 本校佐藤重遠記念講堂
*平日は毎日、学校見学が可能です。入試広報室までご連絡ください。(03-5996-3133)
なお、上記の説明会、見学会、行事は事前予約不要です。

大学・短期大学オーブンキャンパス

<新宿キャンパス>
6/20(日)、7/25(日)、8/14(土)、10/3(日) 時間13:00～16:30(途中入退場自由)
<岩槻キャンパス>
7/11(日)、8/22(日)、9/12(日)、10/24(日)、11/28(日)、12/5(日)
時間13:00～16:30(途中入退場自由)
無料送迎バス 岩槻駅発12:10、12:40 東川口駅発12:30

POPダンサーの登竜門で優勝

今年の1月に大阪で開催されたダンスコンテスト「BATTLE POP LOCK」の「2on2」で見事に優勝を飾ったのが、人文学部言語文化学科3年の政井海人君です。

POPとは音と一体化した動きが求められるブレイクダンスの一種であり「BATTLE POP LOCK」はPOPダンサーの登竜門といえるコンテストです。政井君は全国の強豪29チームがエントリーした「2on2(2人対2人)」のバトルに出席し関東のチームとしては初めて優勝の栄冠に輝きました。

このコンテスト以降は政井君のプロ級の腕前を見込まれ、ダンスレッスンの講師やイベント出演の依頼が数多く寄せられています。

夢のために教員免許取得を目指す

政井君がダンスを本格的に始めたのは大学入学直前のことで、高校3年の夏までは高校球児でした。

わずか2年で学生ダンサーとして有数の存在に躍り出たのは、もちろん、不断の努力の賜物です。大学のサークル「Mejiro Breakers」に所属し、仲間との練習と個人練習をあわせると、1日の練習時間は平均7時間にもおよびます。今年3月にはコンテスト中に脚の靱帯を切るアクシデントに見舞われましたが、途中で棄権することもなく踊り終えました。その後も「逆に上半身の動きを重点的に研究するチャンスと思って練習を続けました」と長年の野球部生活で培った“根性”を見せてくれました。

これだけダンスに打ち込んでいると、なかなか学業に時間が割けないのではないかと心配

になります。しかも政井君は通常の言語文化学科のカリキュラムのほかに教職課程も受講しており、かなりハードな毎日です。

しかし、「電車通学の時間を有効に活用するなど、きちんと計画を立て勉強しています」と政井君は語ります。その頑張りの背景には政井君の2つの将来の夢があるからです。「1つはプロダンサーとして活躍すること、もう1つは子どもたちにダンスを教え、もっとダンスの明るさ、楽しさを広めていきたいという思いを抱いていること。だから教員免許(英語)は絶対に取得するつもりです」

ろう学校に招かれての貴重な体験

子どもたちに教えるという気持ちを強くしたのは、ろう学校に招かれて耳の不自由な子どもたちにダンスを教えた体験から。「自分の場合、ダンスは音を聴いて自然に身体が動いてはじまるものなので、どうすればいいのか悩みました。でもまず自分が身体でリズムを刻み、それに合わせてもらうことで問題は解決。周りの音に惑わされない分、ずっと正確なリズムで踊ることができました。これにはとても驚きました」

踊ることができないと諦めていた子どもたちはもちろん、保護者の間にも大きな感動が広がっていました。「親と子、大人と子ども、あるいは健常者と障害者……ダンスを通して、さまざまな垣根を取り払いたい」。それが政井君の将来の夢になったわけです。



両キャンパスの一体化を期待

政井君は今春、新入生歓迎会で新宿キャンパスを訪れ、ダンスを披露し喝采を浴びました。その時に秋の岩槻キャンパスの桐祭には、新宿キャンパスの学生たちも足を運んでくれるよう約束を取りつけてきたそうです。

「目白大学の2つのキャンパスの学生同志が、もっと協力しあう雰囲気を作っていくことが大切だと思います。学園祭で一緒になってダンスを踊れば、一体感が増すことは間違ひありません。僕のダンスがその架け橋の一助になれば最高です」と政井君は抱負を語ってくれました。



ダンスの楽しさを 子どもたちに伝えていきたい

人文学部言語文化学科3年
政井 海人君